

図書館情報

ー読書とは「楽しみ」を見つけることですー

●お問い合わせ

本館 73-1616
清和 82-3033
蘇陽 73-2755

休館日：本館・蘇陽(月曜日・祝日・年末年始) 清和(年末年始)

『4月のおすすめ図書』

「通園・通学のおべんとう」

主婦の友社 分類596

4月は入園、入学の季節。遠足や毎日のお昼ご飯に、お弁当を作られる方も多いと思います。子どもの好きなキャラクターを作ったり、健康のために作ったり。「今日はどんなお弁当かな?」お弁当の時間はいつもワクワクしますね! この本には、そんな想い出に残るおいしいお弁当作りのヒントが満載です。



「1分で話をまとめる技術」

樋口 裕一 (ひぐち ゆういち)

上手なあいさつや、気の利いたスピーチはパッと見思いつかないものですね。図書館では、冠婚葬祭でのあいさつやマナー、人前で話すコツの本などがたくさん揃っています。もちろん新社会人のみなさんも、どんどん本を活用して下さい! 暮らしの中の、「ちょっと困った」に図書館の本がお役に立ちます。



「山で暮らす愉しみと基本の技術」

木内 正伸 (きうち まさのぶ)

農山漁村文化協会 分類651

暖かくなると、アウトドア活動を楽しみたくなりますね。そんな時この本はいかがでしょう。木の伐採と造材・小屋作り・石垣積み・水路の補修・囲炉裏の作り方、利用方法などを紹介しています。カラーイラストと写真で細かな点もわかりやすく、山暮らしの知恵と技術が詰まっています。



「麹のレシピ」

おの みさ

池田書店 分類596
麹と聞くと、「味噌」や「甘酒」を思われる方が多いのではないでしょうか。麹を使うと食材の旨みが増し、滋養強壮作用・老化防止などに効果があると言われています。この本では調味料として、麹に塩をまぜ水を加えて作る「塩麹」が紹介されています。麹をもっと身近に使ってみませんか。



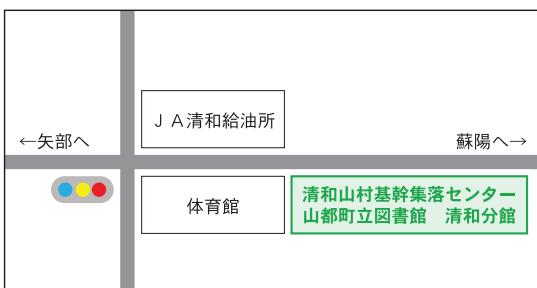
昨年の楽しみ会のようす

「子ども読書の日」 4月23日 (土)
午後2時より本館図書館ホールにて、
ミニミニお楽しみ会を開催します。
また、各図書館にて子ども向けの本
の展示を行います。

ミニミニお楽しみ会のおしゃせ

本館	4 / 29	4 / 30	5 / 2	5 / 3
蘇陽分館	4 / 30	5 / 4	5 / 5	
清和分館	4 / 29	5 / 2	5 / 3	
	4 / 29	5 / 3	5 / 5	
	4 / 30	5 / 4	5 / 5	
	5 / 2	5 / 3		
	5 / 3			

『図書館へでかけませんか?』



朝8時30分から夜7時まで開館しています。図書のスペースには、小さいお子さんも楽しめる絵本や、可愛らしい布絵本がたくさんそろっています。また、中学生の来館が多いため、中学生向けの本も充実しています。夕方になると、熱心に本を読み、勉強をする生徒が多く見られます。休館日がお盆と年末年始のみですので、本館・蘇陽分館が休館の場合でも、清和分館をご利用いただけます。新しい発見を探しに、ぜひ図書館へお越し下さい。

清和分館では、中学生が帰宅途中に利用できるように、また小さいお子さんを持つお母さんたちの憩いの場となるように、平日は

冬の寒さも和らぎ、日差しが暖かい春を迎えた。お散歩がてら図書館でかけてみませんか? 今回は清和山村基幹集落センター内にある、「山都町立図書館清和分館」を紹介します。

以

だ
よ
り

書
館



冬の寒さも和らぎ、日差しが暖かい春を迎えた。お散歩がてら図書館でかけてみませんか? 今回は清和山村基幹集落センター内にある、「山都町立図書館清和分館」を紹介します。

このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。

以

だ
よ
り

書
館



このコーナーでは、図書館の本で読書を楽しんでいらっしゃる方を「読楽町民」としてご紹介します。

第1回目は、眼鏡ミツエさん(下馬尾)です。

ミツエさんは現在100歳です。読楽町民のきっかけは、約3ヶ月前、自宅でテレビを見ていることが多かったミツエさんに、ご家族が図書館から借りてきた民話集を差し出したことでした。読む楽しさを知ったミツエさんは、いままでに小説や民話、伝記・自伝など10冊ほどを完読されています。

ご家族によると、「最初は字や絵の大きくて入った本を借りてきていたが、最近は小さい文字でも虫眼鏡を使って丹念に読んでいます。本を読みたいという意欲が湧いているように感じられます。図書館にはお年寄りでも読みやすい本がたくさんあってうれしい」とのことです。

取材当日も図書館から借りた多くの本が目の前にありました。ミツエさんは「本はとてもおもしろいですね」と、早速虫眼鏡を手に取り、ページをめぐり始めました。